

東京通信大学におけるGPA（Grade Point Average）の活用について

履修した科目の成績は次のとおりポイント化し、平均値をGPA（Grade Point Average）として用いる。GPAを用いることにより、学内における自分の成績位置の把握を行う。

評価		評点	Grade Point	
合格	S	90～100点	総履修単位数として 分母の計算基礎になる	4.0
	A	80～89点		3.0
	B	70～79点		2.0
	C	60～69点		1.0
不合格	F	0～59点		0.0
認定	N	申請され、本学の単位として認定したもの	-	対象外
免除	M	実習免除科目	-	対象外

※評点は100点を満点とする。

<GPA(Grade Point Average)の算出方式>

$$\frac{(Sの単位数 \times 4.0) + (Aの単位数 \times 3.0) + (Bの単位数 \times 2.0) + (Cの単位数 \times 1.0) + (Fの単位数 \times 0.0)}{\text{総履修単位数 (Fを含むが、N・Mは含まない)}}$$

※再履修して合格となった場合も、不合格時の成績評定値（Grade Point）が残り、計算に含まれる。